

# B & G TOPIC 集

2016年度



## CONTENTS

大きく変わる海洋センター 地域コミュニティの活性化 ..... 1・2

障害者・児童養護施設・ひとり親家庭の子供たちへの  
海洋性レクリエーション等の提供 ..... 3・4

海や川で安全に遊ぶための“知恵”を学ぼう 水辺の安全教室 ..... 5

地元で災害が起きてもあわてない! 避難所開設訓練 ..... 6

熊本復興支援へのご協力ありがとうございました ..... 7・8

水泳の聖地で全国のジュニアスイマーが熱戦を展開 ..... 9

「海の仕事」を知ってもらいたい 東京湾海洋体験アカデミー ..... 10

海洋センターをもっと便利に使いやすく! 海洋センター修繕助成 ..... 11

東日本大震災復興支援 みんなの艇庫が帰ってきた ..... 12

新たに4センターが10年連続特A表彰! ..... 13

5カ所のクラブが新規登録 ..... 14

2016年度事業紹介 ..... 15・16

リオオリンピック・パラリンピックで大活躍! B&Gアスリート ..... 17

青少年の健全育成推進計画について ..... 18





玄関ホールを多目的ホールに改修し、子供たちを対象とした英会話教室を実施 熊本県湯前町

コミュニティ再生モデル事業  
 利用者数  
**140%UP!**

地域コミュニティの  
 活性化



# 大きく変わる 海洋センター

自治体では、人口流出や少子高齢化などにより“地域コミュニティの希薄化”が進んでいます。B&G財団では、海洋センターを多機能化することで、スポーツ活動に止まらず、子供からお年寄りまで多世代にわたり“誰からも親しまれ、気軽集える”場所へとシフトする新たな取り組みを2015年度からスタートさせました。



ミーティングルームをトレーニングルームに



体育館に畳を敷き冬休み期間の勉強をサポート



子育て世代交流スペースの設置

## 地域コミュニティ再生モデル事業

2015年度に、北海道積丹町と熊本県湯前町をモデルとして開始した「コミュニティ再生モデル事業」。2年目となる2016年度は、海洋センターの新たな活用プログラムなど、ソフト事業の拡充と定着化を推進し、地域住民による自主サークル活動やボランティア活動が活発化するなどの効果が表れてきました。海洋センターに新たな機能を追加したことをきっかけに単に海洋センターを利用するだけでなく、住民自らが動き、自分たちの望む活動の実現に向けて動き始めています。

担当者の感想

北海道積丹町  
丹場 康夫



以前の海洋センターは、スポーツをしない人は全く来ない施設でした。しかし、このモデル事業に取り組んでから、確実に海洋センターを取り巻く人の流れが変わっていると感じています。事業を通じ「スポーツをしなくても行っていいところなんだ……」と思ってもらえるようになったことがとても大きいと感じています。

### 北海道積丹町

キッズスペースを設け、乳幼児の利用環境を整備するとともに、図書コーナーや休憩スペース、視聴覚器材を整備



ミーティングルームを活用した「大人の混声クラブ」



体育館に1,000冊の本を広げた「ブックフェスタ」の開催

### 熊本県湯前町

ミーティングルームをトレーニングルームに改修し、玄関ロビーを憩いの場（多目的ホール）へ拡張



拡張したロビーで行う、スイーツ作り体験・栄養指導



子育て世代を対象にした「赤ちゃんサークル」の活動（骨盤体操「ひめトレ」）

## コミュニティ機能付加改修支援

海洋センターを誰からも親しまれ、気軽に集える「活力ある地域づくりの拠点」とするため、海洋センターの一部改修・備品購入等のアイデアを募集。応募のあった23自治体のなかから、実施効果の高い10カ所に100万円

を上限として支援を行いました。各センターでは、新たな機能を活用した活動を実施。地域住民の新たなコミュニティ形成につながっています。

### 京都府京丹波町和知

地元の木材を活用した森の京都

カヌー教室で休憩所として利用するほか、近隣の道の駅「和」で購入した食事をとる場所としても利用することができます。



艇庫に木製テーブルセットとボルダリングウォールを設置

### 広島県尾道市瀬戸田

エントランスで文化活動

地元の高校生による読み聞かせ会や未就学児による合唱などが行われるようになりました。



体育館エントランスホールを改修し、机・椅子を設置

# 障害者・児童養護施設・ひとり親家庭の海洋性レクリエーション等自然体験の機会

自然体験活動は、社会性を身につけ学習意欲の向上に効果があるといわれる一方で、身体的・経済的・家庭的な理由で参加することが困難な子供たちが増えています。

B&G財団では、そのような状況を「体験格差」と捉え、その解消に向け、障害者・児童養護施設に暮らす子供・ひとり親家庭を対象とした、水辺の自然体験活動を推進しています。

## 障害者 指導者研修会や水辺の安全教室を実施

2016年4月の障害者差別解消法施行、2020年の東京パラリンピック開催など、障害者の社会活動への理解と支援が進んでいます。一方、障害者を受け入れている海洋センターは30%となっており、更なる事業展開が望ま

れています。そのような中、B&G財団では障害者支援団体などと連携し、指導者研修会や水辺の安全教室を実施。2017年度には指導者養成のカリキュラムとして取り入れることにしています。

### 大分県B&G別府海洋クラブ

障害者も健常者も一緒に活動するインクルーシブな活動に着手。



障害の有無にかかわらず参加できる「B&G 障害者と健常者のヨット大会」を実施



障害者も安全に操船できるユニバーサルデザインヨットを配備

### 障害者カヌー研修会

2016年9月4日(日)、埼玉県吉川市民プールにおいて、関東ブロックB&G地域海洋センター連絡協議会と連携し、指導者研修会を実施しました。



日本障害者カヌー協会の協力を得て行った実技研修会



研修会には21人のB&G指導者が参加

### 葛飾ろう学校「水辺の安全教室」

夏休みの課外授業として「水辺の安全教室」を実施。視覚教材を準備し、事前説明の時間を多く確保するなどし、聴覚障害に対応しました。



映像など視覚資料を用いて、事前説明に時間をかけた



教員による手話通訳を交え、実技指導を行う

# 子供たちへ を提供・支援

体験格差の解消



## 児童養護施設

### 夏休みの海レクキャンプや日帰り海体験を実施

全国にある児童養護施設は599カ所。そのうち、144カ所の施設が海洋センター所在自治体に設置されています。そのような状況をうけ、B&G財団では2015年度から、

児童養護施設の子供たちを対象とした事業の調査研究に着手。2016年度は、1泊2日の宿泊体験事業と日帰りの海体験事業を実施しました。

#### B&G チャレンジキャンプ

- 〔場所〕 兵庫県南あわじ市 他
- 〔参加者〕 徳島県内の児童養護施設の児童 29人 (小4～中2)
- 〔日程〕 8月3日(水)～4日(木) (1泊2日)
- 〔プログラム〕 カヌー、SUP、バナナボート  
うずしおクルーズ、巡視艇体験乗船など



1泊2日の体験キャンプ



うずしおクルーズ

#### B&G マリンキッズ

- 〔場所〕 新潟県糸魚川市
- 〔参加者〕 長野県内の児童養護施設の児童 11人(9日)・25人(10日)
- 〔日程〕 8月9日(火) および10日(水) (日帰り・2回)
- 〔プログラム〕 カヌー、SUP、バナナボート、海水浴など



初めての海体験



大人気のバナナボート

## ひとり親家庭

### 親子で楽しむ夏休みの海体験と友達をつくる春休み宿泊海学習

ひとり親家庭では、「子供に自然体験活動をさせてあげたいけど、様々な事情でなかなかできない」という声があります。B&G財団では、一般財団法人東京都ひとり親家

庭福祉協議会や東京都足立区と連携し、ひとり親家庭を対象とした事業を展開しています。

#### 海はともだち！ カヌー体験会 in 葉山

- 〔場所〕 神奈川県葉山町 一色海岸
- 〔参加者〕 都内ひとり親家庭の親子 99人
- 〔日程〕 7月24日(日)～26日(火) 3日間
- 〔プログラム〕 カヌー、SUP、海水浴 など



親子で楽しむSUP体験



顕微鏡は大人が夢中になりました

#### 海はともだち！ 自然体験交流会

- 〔場所〕 東京都江東区 他
- 〔参加者〕 東京都足立区在住ひとり親家庭の児童 22人
- 〔日程〕 3月25日(土)～27日(月) 2泊3日
- 〔プログラム〕 帆船見学、水族館見学、ヨット体験 など



始めてみる個体のマグロにビックリ！



海王丸でデッキウォッシュ甲板磨きに挑戦！



ライフジャケット浮遊体験を楽しむ小学生

# 海や川で安全に遊ぶための “知恵”を学ぼう！

水辺の安全教室



昨年度を上回る全国189校で実施 15,906人の子供たちが参加

B&G財団では、子供たちに海や川、湖などの水辺で楽しく安全に遊ぶための“知恵”や“技術”を習得してもらうため、毎年、水のシーズンを迎えると小学校や全国の海洋センターなどのプールを使ってB&G「水辺の安全教室」を実施しています。

2016年度は、昨年度を上回る全国189校、15,906人の子供たちが、体育の授業や課外授業などを通じてこの教室に参加。万が一、海や川に落ちてあわてずに浮いていられる背浮きや着衣泳、ペットボトル浮遊などを体験

したほか、紙芝居を見ながら身を守る知恵や海の環境問題などを学びました。

なお、今年度からは特別支援学級や障害を持つ子供たちを対象にした同教室の取り組みも始めています。



多くの小学校ではプールでカヌーの体験も行っていきます



離岸流の仕組みなど、海や川で遊ぶ際の安全知識を紙芝居で学びます

## 教室を広めるための研修も実施！

B&G「水辺の安全教室」を広めるため、昨年度からは教員や教員をめざす大学生を対象に子供たちを指導するための研修も開始しています。今年度は21カ所で296人が受講。将来は、学校や自治体などの自主的な開催も期待されます。



学芸大学で実施した研修の様子



着衣泳を練習する子供たち。いざというとき、あわてずに済みます



段ボールで仕切りを作る作業を体験 (8月26～27日：鹿児島県鹿屋市)



応急担架を実際に使ってみました (11月26～27日：兵庫県篠山市)



ゲーム感覚で学ぶ避難シミュレーション (11月11～12日：福岡県築上町)

### これまでに10カ所で実施

- ① 北海道古平町
- ② 秋田県由利本荘市
- ③ 茨城県五鹿町
- ④ 福井県大野市
- ⑤ 岐阜県中津川市
- ⑥ 兵庫県篠山市
- ⑦ 島根県雲南市
- ⑧ 徳島県徳島市
- ⑨ 福岡県築上町
- ⑩ 鹿児島県鹿屋市

※ 太字 が今年度、● が昨年度の実施地



避難所開設訓練



## 地元で災害が起きてもあわてない!

災害に負けない地域づくりを支援。  
全国5カ所で実施

## 住民の防災意識と地域の防災力を高めよう

海洋センター体育館は地域の防災拠点としても注目されており、現在、全国168カ所で災害時における避難所に指定されています。

そのため、B&G財団では避難所に指定された海洋センターを対象に、昨年度から「避難所開設訓練」を始めており、今年度は全国5カ所の海洋センターで実施。住民の防災意識を高め、地域の防災力を強化するため、それぞれの地域特性に合わせた活動プログラムを実践して、いざというときに備えました。



寝袋での寝心地はいかが? (9月23～24日：北海道古平町)

熊本地震支援活動

# 熊本支援金へのご協力 ありがとうございました

皆様からお寄せいただいた支援金額

2017年3月31日現在 **14,766,737円**

## 「B&G ネットワークによる相互応援」協定の絆

2016年4月14日以降に相次いで発生した熊本県を震源とする大地震では、熊本県、大分県の海洋センター所在自治体に甚大な被害が発生しました。B&G財団では、2016年1月に開催した「第8回B&G全国サミット」にて共同宣言に盛り込まれた「災害時における相互応援」を受け、被災地での支援物資を全国の海洋センターへ発信

したところ、全国の海洋センターから、おむつや医薬品、マスクなどの支援物資が届けられました。全国から寄せられた支援物資は、熊本県連絡協議会と熊本県指導者会有志のご協力のもと、南阿蘇村をはじめとする大きな被害を受けた熊本県内の海洋センター所在自治体に送られました。

### 地震発生からの支援活動

<b>4/14</b> 21:26	<b>4/15</b>	<b>4/16</b> 1:25	<b>4/18</b>	<b>4/19</b>	<b>4/23-25</b>	<b>5/16-17</b>	<b>5/17~</b>	<b>7/13-14</b>	<b>9/12</b>	<b>9/25</b>
前震	全国の海洋センター宛に熊本の被害状況について一報を発信	本震	全国の海洋センターに支援物資の要請を依頼	熊本支援金の呼びかけ開始	財団職員を現地へ派遣	財団役員現地訪問 見舞金の配付	日本財団災害復興支援センター熊本本部 B&G財団職員派遣（〜12月末）	幼児を対象とした運動教室1回目の実施（計3回実施）	B&G指導員によるボランティア活動1回目の実施（計4回実施）	被災地でのマリンスポーツイベント1回目の実施（計2回実施）

### 支援物資内容

- ・大人用の紙おむつ（全サイズ）
- ・子供用の紙おむつ（全サイズ）
- ・清拭シート（赤ちゃん用おしりふき）
- ・尿取りパッド大人用、生理用品
- ・食料（カンパン、ゼリー等）
- ・衛生用品が必要（風邪薬、マスク、のどあめ、消毒液等）
- ・マット
- ・ブルーシート



# 支援金による復旧・復興活動

## 幼児を対象とした運動教室 「がんばろう熊本! B&Gフロアリズム運動教室」

南阿蘇村では地震に次いで豪雨に見舞われ、子供たちが元気に体を動かし遊ぶ機会がほとんどありませんでした。そうした中、「体を動かして子供たちのリフレッシュを図ってほしい」との要望を受け実施しました。

- 〔1回目〕 7月13日・14日 幼児 91人指導者 7人(南阿蘇村)
- 〔2回目〕 9月1日・2日 幼児 88人指導者 6人(南阿蘇村)
- 〔3回目〕 11月17日・18日 幼児143人指導者10人(熊本市)



音楽に合わせたリズムカルな体操



体を動かすと自然と笑顔があふれます

## B&G指導員によるボランティア活動 「がんばろう熊本! B&G指導員ボランティア派遣」

全国のB&G指導員が「横の連携」を発揮して、がれき除去作業や支援物資の移送などのボランティア活動を行いました。

- 〔1回目〕 9月12日 参加者 20センター 37人
- 〔2回目〕 10月17日 参加者 22センター 30人
- 〔3回目〕 11月14日 参加者 13センター 28人
- 〔4回目〕 12月12日 参加者 22センター 31人



支援物資の分別移動



家屋の家財道具などの運び出し



総勢126人のB&G指導員が参加したボランティア活動

## 被災地でのマリンスポーツイベント「がんばろう熊本! B&Gフェスタ」

被災自治体の活動水面を利用して、市民を対象としたカヌー、SUP、バナナボートなどの海レク体験イベントを実施し、被災自治体を活気づけるとともに、復興に立ち向かう住民を応援することを目的に実施しました。

### (1) がんばろう熊本! B&G フェスタ in 菊池市

- 〔日程〕 9月25日(日)
- 〔場所〕 竜門ダム
- 〔参加者〕 225人



### (2) がんばろう熊本! B&G フェスタ in 宇城市

- 〔日程〕 10月8日(土)
- 〔場所〕 若宮海水浴場
- 〔参加者〕 197人



## 2017年度は 「がんばろう熊本! 帆船クルーズ」を実施

2017年度は、住宅再建や生活再建など復興途上の中、子供たちの貴重な夏休みのイベントとして、熊本市・宇城市・南阿蘇村の小中学生とその保護者を対象に、帆船やマリンスポーツなど海洋体験を通じた復興支援事業を実施します。



乗船する「帆船みらいへ」(230トン)

## 災害復旧修繕で被災した 海洋センターの現状復帰を支援

熊本地震で被災した海洋センターは、熊本県と大分県にある5センター6施設。B&G財団では、災害復旧修繕で海洋センター施設の現状復帰を支援しています。



熊本市城南  
第二体育館の天井が崩落



熊本市城南  
地盤沈下でプールサイドが破損

道府県名	センター名	施設名
熊本県	1 菊池市 泗水	体育館
	2 玉名市 岱明	体育館
	3 熊本市 城南	体育館
		プール
大分県	4 由布市 湯布院	体育館
	5 由布市 挾間	プール

過去最高!  
参加選手  
651人

2016 B&G  
全国ジュニア  
水泳水競技大会

# 水泳の聖地で全国のジュニアスイマーが熱戦を展開

6つの大会新記録が誕生



総合の部

[優勝]  
山梨県

[準優勝]  
埼玉県

[3位]  
群馬県

過去最高となる26都道府県74チーム、651人の選手が熱い戦いを繰り広げました

## インクルーシブな大会をめざし、障害のある選手も大健闘！

全国各地の海洋センターで日頃から水泳の練習に励んでいる子供たちを対象に、東京辰巳国際水泳場で毎年開催している「B&G全国ジュニア水泳競技大会」。8月20日(土)に実施した2016年度の大会には、過去最高となる26都道府県74チームから651人の選手が参加して盛り上がり、自由形やメドレーリレーなど計30種目の競技のなかで6つの大会新記録が誕生。県別団体対抗戦では山梨県チームが男女総合優勝を果

たして圧倒的な強さを示し、昨年度に続いて2連覇を達成しました。

また、今年度はインクルーシブな競技大会の実現に向け、スポーツを通じて知的障害のある人たちの自立と社会参加を応援している認定NPO法人「スペシャルオリンピックス日本・東京」のアスリート(主に知的障害者)3人も参加。一般参加の子供たちと同じ種目に出場して、日頃の練習の成果を大いに発揮しました。



各県のチームとも仲間の応援には力が入っていました



県別団体戦では山梨県チームが見事に2連覇を達成しました



認定NPO法人「スペシャルオリンピックス日本・東京」からも3人が参加。競技後はゲストの五輪メダリスト中村真衣さんから直接指導を受けました



普段、行くことができない造船所の内部をはじめ、海洋研究開発機構や海上自衛隊基地などを見学しました

National Institution For Youth Education  
独立行政法人 国立青少年教育振興機構  
「子どもゆめ基金助成活動」

体験の風を  
おこそう

# 海に囲まれた国だから、 「海の仕事」を知ってもらいたい！

小中学生が、造船所や海洋研究所など「海のプロ」の仕事現場を体験学習

B&G  
東京湾海洋体験  
アカデミー2016

## 2 行程で 76 人の小中学生が参加

さまざまな産業が輸出入に依存している日本にとって「海の仕事」は欠かせませんが、子供たちが海事産業を横断的に体験学習する機会はめったにありません。そこで、B&G財団では長年培った海洋体験事業のノウハウを活かし、海に関わる多角的な学習の機会を小中学生に提供する目的で、毎年、夏休みを利用して「東京湾海洋体験アカデミー」を実施しています。

今年度は7月26日(火)から8月5日(金)にかけ、4泊5日×2行程で実施し、全国から集まった計76人の

小中学生が、海上保安庁をはじめ、造船所や海洋研究開発機構(JAMSTEC)、水産市場など、“海のプロフェッショナル”が働く現場を体験しながら多くのことを学びました。



造船所では設計士の仕事を体験。自分の船も設計してみました



鎌倉の海岸でウインドサーフィンなどのマリンスポーツも楽しみました



水産研究所で体験したホタテの解剖。「どんな構造になっているんだろう？」



海上自衛隊基地では特殊防火服を着用。みんなワクワク、ドキドキです

# 海洋センターをもっと便利に 使いやすく！



海洋センター  
修繕助成

## 37施設に総額5億3,400万円を助成

地域住民がB&G海洋センターを快適に安心して利用するため、施設修繕や機能向上の経費を助成する「地域海洋センター修繕助成」。2016年度は、37施設に総額5億3,400万円を助成しました。助成金額が1,000万円以上となる26自治体には、修繕助成金決定書授与式を実施しています。



### 福岡県大任町

長年休止していた上屋付きプールを多目的運動場へ用途変更改修。



上屋撤去、プール缶体埋め戻しなどを行い、屋根付き多目的運動場に立替

### 長野県飯島町

プールサイドやろ過機、上屋鉄骨などプールを全面改修。



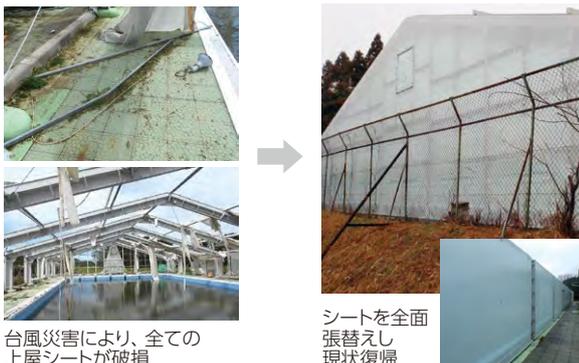
腰洗い槽を撤去し、プール床をノンスリップシートへ変更

## 災害復旧修繕 6施設へ2,710万円

自然災害で被災した海洋センターの現状復帰も支援しています。

### 鹿児島県南大隅町

台風16号の直撃により、プール上屋シートが全損したため、全面張替えを実施。



台風災害により、全ての  
上屋シートが破損

シートを全面  
張替えし  
現状復帰

## リニューアルオープン式典を開催

地域住民へ海洋センターが生まれ変わったことを広く周知するため、14カ所の海洋センターでは、リニューアルオープン式典を開催しています。



水泳教室参加した子供たち

青森県鶴田町B&G海洋センターのリニューアルオープン式典では、シドニーオリンピック競泳メダリストの中村真衣氏による記念講演や水泳教室が行われました。



テープカット

中村真衣氏のレッスン 大盛況だったサイン会



津波によって全壊した艇庫



国の災害復旧費で再建された艇庫



30年以上続く地域をまたいだ交流会が5年半の時を経て復活!

## 岩手県 山田町B&G海洋センター みんなの艇庫が帰ってきた!



東日本大震災  
復旧助成

### 地域をまたいだ交流会も復活!

B&G財団では、東日本大震災で被災した海洋センターの復旧費用の助成やカヌーやヨット等の舟艇配備など、東日本大震災からの復興支援を続けています。

津波で全壊した岩手県山田町海洋センターの艇庫は、2016年4月に、国の災害復旧費により再建。夏のシーズンを迎えた7月28日(木)にB&G財団が無償譲渡するヨットやカヌーの「災害復旧舟艇器材配備式」が行われました。

当日は、1984年からマリンスポーツ交流事業を続けて

いた青森県名川町の子供が招待され、両町合わせて32人の子供たちが配備されたばかりのカヌーやバナナボートを楽しみ、震災から5年間にわたり中断していた両町の交流事業も復活しました。

震災で全壊した海洋センターは、3県7センターの11施設。このうち、岩手県洋野町の施設(艇庫)は一昨年再開を果たしており、山田町 B&G海洋センターはこれに次ぐ2カ所目の復旧・再開となります。



山田町の甲斐谷 副町長へ目録を贈呈



初対面の子供同士がバディとなり2人1組で海へ



震災を乗り越えた山田の海に子供たちの歓声が響きました

# 新たに4センターが10年連続 特A表彰!

海洋センター評価



左から芳賀町上野 副町長 八百津町 金子町長 雲南市 速水市長 周防大島町 椎木町長



790人が参加した  
第9回「B&G全国サミット」で表彰



B&G全国サミット会場で特A評価  
となった242カ所を掲示

## 10年連続特A評価は9カ所に

海洋センター評価は、各施設の管理・運営面を把握し、今後の活動の活性化に役立てるとともに、B&G財団が行う支援活動の“指標”とすることを主な目的として、2003年度から導入しているものです。

評価は最優良である特AからEまでの6段階で、第9回B&G全国サミットでは、10年連続で特A評価を獲得した栃木県芳賀町、岐阜県八百津町、島根県雲南市、山口県周防大島町の4センターを表彰。10年連続特A評価を獲得しているセンターは9センターとなりました。

	海洋センター名	特A獲得年数
1	北海道滝川市	14年間
2	青森県南部町名川	13年間
3	埼玉県久喜市栗橋	13年間
4	広島県府中市	12年間
5	愛媛県愛南町御荘	12年間
6	栃木県芳賀町	10年間
7	岐阜県八百津町	10年間
8	島根県雲南市加茂	10年間
9	山口県周防大島町	10年間

### 4自治体の特産品紹介ブースを設置

第9回B&G全国サミットでは、今回新たに10年連続特A評価を獲得した4自治体の特産品紹介ブースを設置。交流会では、ミカンや焼豚、イチゴ、ワインなどの試食も行われました。



海洋クラブ

Supported by  
日本財団  
THE NIPPON  
FOUNDATION

## 5カ所の 海洋クラブが 新規登録



### 海洋性レクリエーションを通じ 子供たちの心と体の育成を！

海洋クラブ  
281カ所

地元の海や川・湖沼などの水面で、子供から大人までの幅広いメンバーが、海洋性レクリエーションを楽しみながら、水辺の安全教室や清掃活動などの活動を通じて、子供たちの心と体の育成を目指すB&G海洋クラブ。2016年度は新たに5カ所の海洋クラブが登録となりました。

#### B&G 杉並海洋クラブ (東京都)

杉並区内のおやじの会やPTA等が主体となり、結成された都市型の海洋クラブ。小学校のプールを活用し、「水辺の安全教室」やカヌー体験会などのイベントを実施しています。



おやじの会を中心に結成された杉並海洋クラブ



船の科学館のプールを使いカヌー教室を実施

#### B&G 亀山市関海洋クラブ (三重県)

総合型スポーツクラブが中心となり、三重県営都市公園亀山サンシャインパーク高塚池でカヌー教室等を実施しています。夏休みには、家族でカヌーを楽しむことができる「スポーツフェスティバル」も開催しています。



公園の池を水面として、気軽にカヌーを楽しむことができます



スポーツフェスティバルは大勢の人でにぎわいます

#### B&G 光スポーツ交流村海洋クラブ (山口県)

セーリング競技の選手育成をはじめ、ウィンドサーフィン、SUPなどの教室を年間を通して実施します。B&G海洋クラブのネットワークを活用して、同じ山口県内で活動しているB&G大島海洋クラブと交流活動も予定しています。



山口県スポーツ交流村の施設を利用し活動します



クルーザーなどの大型舟艇を使った活動も特徴の一つです

#### B&G 柳川やまと海洋クラブ (福岡県)

水郷柳川の恵まれた水辺環境を活かし、まちの中を縦横に流れる「掘割」で一般者向けのカヌー教室やプールで行うOPヨット体験や水辺の安全教室などを実施しています。



柳川市を巡る掘割でカヌーツーリング



いつも元気な海洋クラブメンバー

#### B&G トトロ海洋クラブ (宮崎県)

クラブ員を対象としたヨット教室や市民を対象としたマリンスポーツ体験会などを実施するほか、夏休みには、ひとり親家庭や共働き世帯の子供達を対象とした児童クラブ「はまべ塾」の運営もします。



自分たちの使うカヌーは自分たちで用意します



ビーチ・フラッグスも子供たちに人気のプログラムです

# まだまだあります 2016年度事業 その一部をご紹介します!

## 過去最多の223人の現職首長など683人が参加 第9回「B&G全国サミット」

Supported by 

“変化する海洋センター!! ～地域のオリジナリティを生かして～”をテーマに開催した「第9回 B&G全国サミット」には、369市町村から過去最高となる223人の現職首長をはじめ、副首長や教育長など683人の自治体関係者が出席しました。

〔日 時〕 2017年1月24日(火)  
〔場 所〕 笹川記念会館 国際会議場

〔特別基調講演〕  
『「トランプ大統領就任式」に参加して』  
日本財団 笹川 陽平会長

不確実性の時代にあっても、  
世界になくはない尊敬  
されるべき国として、日本は自信  
を持って行動すべきである



主催者の挨拶をするB&G財団 会長 梶田 功

## 44道府県の市町村教育長58人が参加 第13回「B&G全国教育長会議」

Supported by 

13回目となるB&G全国教育長会議は“インクルーシブな地域社会を目指して～障害者差別解消法の推進～”を会議テーマとして実施。44道府県の市町村教育長58人を含む78人の参加者が、教育現場における現状の課題等について意見交換を行いました。

〔日 時〕 2016年11月8日(火)・9(水)  
〔場 所〕 日本財団ビル2F大会議室



78人が参加した  
第13回「B&G全国教育長会議」



会議終了後に、日本財団パラリンピックサポートセンターの事務所見学も行われた

## 1,571人が参加 4,321本の苗木を植える 海を守る植樹教育事業

Supported by 

子供たちに森の大切さを伝える体験型の環境教育として、2012年度から実施している「海を守る植樹教育事業」。2016年度は20人の植樹リーダーを養成するとともに、全国で育苗を15ヵ所、植樹を14ヵ所で開催しました。



子供たちに森の大切さを伝える  
体験型環境教育



4月25日～27日に実施したB&G植樹リーダー研修会には20人が参加

## 4 大学と連携し授業や講座を実施 大学と連携した人材育成

2015年度からスタートした大学と連携した人材育成事業。2016年度は4大学に拡大し、授業やフィールドワーク実習などを通じ、182人の学生が水辺の安全教育を学びました。

- |   |        |                             |
|---|--------|-----------------------------|
| 1 | 東京学芸大学 | カフェテリア講座<br>参加学生41人         |
| 2 | 群馬大学   | 「水系スポーツの安全と基礎」授業<br>参加学生43人 |
| 3 | 大正大学   | フィールドワーク実習<br>参加学生42人       |
| 4 | 武蔵丘短大  | 「水辺の安全プログラム」授業<br>参加学生56人   |



B&Gリーダー資格が取得できる大正大学のフィールドワーク実習



水辺の安全教室の実技を学ぶ東京学芸大学のカフェテリア講座

## 新たに84人の指導者が誕生!! アドバンスト／アクア・インストラクター養成研修

Supported by 日本財団 THE NIPPON FOUNDATION

2016年度の指導者養成研修には、全国の海洋センター（自治体）から推薦された84人（アドバンスト44人、アクア40人）が参加。研修生はそれぞれの地元に戻り、「青少年健全育成」や「地域住民の健康づくり」など「B&Gプラン」推進の中心として活躍しています。

### アドバンスト・インストラクター

〔期間〕 2016年6月2日～7月6日（35日間）  
〔参加者〕 44人

### アクア・インストラクター

〔期間〕 2016年6月2日～6月24日（23日間）  
〔参加者〕 40人



18歳から49歳までの幅広い年齢層の研修生が参加



初心者の幫助法などを学ぶ



ヨット実技

## 196の海洋センター・海洋クラブから226人の指導員が参加! 2016年度 B&G 指導員研修会

2日間の研修で、今後の海洋センターの有効活用に役立つ様々な情報やノウハウを学ぶ「B&G指導員研修会」。196の海洋センター・海洋クラブから226人の指導員が出席しました。

〔日時〕 2017年1月26日（木）・27日（金）

〔場所〕 日本財団ビル2F大会議室

〔特別基調講演〕  
「リベロ世界一の軌跡」  
ロンドンオリンピック銅メダリスト  
元全日本女子バレーボール代表  
佐野 優子氏



基調講演や事例発表を行った指導員研修会

# リオオリンピック・パラリンピックで大活躍！ B&G海洋センター・海洋クラブゆかりの アスリートたち

B&Gアスリート

## 16人のB&Gアスリート

日本選手338人が出場し、2016年8月5日から8月21日までの17日間にわたり熱い戦い繰り広げられたリオデジャネイロオリンピック。その熱が冷めやらないなか2016年9月7日から9月18日にかけて開催され、127人の日本代表パラアスリートが出場したリオデジャネイロパラリンピック。日本に明るい話題をもたらしてくれたこの大会に出場した選手には、子供のころなどに海洋センターや海洋クラブで活動や練習していた“B&Gアスリート”も多くいます。



### リオオリンピック B&G関係 日本代表選手

	選手名	種目/結果	ゆかりの海洋センター・海洋クラブ
1	競泳 小堀勇気	男子 4×200mリレー 銅メダル	石川県 志賀町富来
2	競泳 江原騎士	男子 400m自由形	山梨県 南アルプス市白根
		男子 4×200mリレー 銅メダル	
3	競泳 渡辺一平	男子 100m平泳ぎ	大分県 佐伯市上浦
		男子 200m平泳ぎ 6位	
4	競泳 星奈津美	女子 100mバタフライ	埼玉県 松伏町
		女子 200mバタフライ 銅メダル	
		女子 4×100mリレー	
5	競泳 内田美希	女子 100m自由形 6位	群馬県 明和町
		女子 4×100mメドレーリレー	
6	テニス 錦織圭	男子シングルス 銅メダル	島根県 雲南市加茂
7	バドミントン 奥原希望	女子シングルス 銅メダル	長野県 大町市
8	バドミントン 山口茜	女子シングルス ベスト8	福井県 勝山市
9	バレーボール 山口舞	女子 ベスト8	三重県 志摩市
10	ホッケー 清水美並	女子 予選	滋賀県 米原市伊吹
11	ホッケー 西村綾加	女子 予選	
12	セーリング 高野芹奈	女子 49erFX級 予選	B&G兵庫ジュニア

### リオパラリンピック B&G関係 日本代表選手

	選手名	種目/結果	ゆかりの海洋センター・海洋クラブ
1	柔道 正木健人	男子 100kg超級 (視覚障害) 銅メダル	兵庫県 南あわじ市南淡
2	ウィルチェアーラグビー 乗松聖矢	ウィルチェアーラグビー 銅メダル	熊本県 長洲町
3	ウィルチェアーラグビー 島川慎一	ウィルチェアーラグビー 銅メダル	熊本県 長洲町
4	陸上競技 久保恒造	男子 5000m (T54)	北海道美幌町
		男子 マラソン (T54) 18位	

B&Gアスリートのエピソードが満載！

### 好評連載「夢をつなげ！ B&Gアスリート」

B&G財団ホームページでは、海洋センター・海洋クラブゆかりのアスリートを紹介する「夢をつなげ！ B&Gアスリート」を公開中！あの有名アスリートの幼少のころのエピソードや東京五輪を目指すジュニアアスリートの活躍など、注目の記事を読むことができます！

「夢をつなげ！ B&Gアスリート」はこちらから →



男子200メートル平泳ぎで2分6秒67の世界新記録を樹立した渡辺一平選手



バドミントンシングルスで日本で初めてメダルを獲得した奥原希望選手

# 青少年の健全育成推進計画について

B&G財団では、「子供たちの心身を鍛え、これからの時代を生き抜く力の育成」を主目的とする「青少年の健全育成推進5ヵ年計画」を2015年度に立ち上げ、B&G財団と海洋センター・海洋クラブが一丸となり取り組んでいます。

新たな事業として、障害者と健常者など分け隔てのないインクルーシブな社会の実現を目指し、児童養護施設やひとり親家庭の子供たち、障害者等へ体験活動の機会を提供する“体験格差解消事業”をスタート。また、海洋センターを地域コミュニティの拠点として活用する“コミュニティ再生モデル事業”や“コミュニティ機能付加改修支援事業”など、海洋センターの多機能化に向けた事業の普及・定着化を推進しています。

## 青少年の健全育成推進5ヵ年計画の活動方針

- 青少年の健全育成に特化した活動
- 海洋教育の普及促進
- 海洋センター・海洋クラブの活性化
- 継続事業の抜本的改善及び廃止
- 新規事業立ち上げ



## ▶ 2016年度における青少年の健全育成推進計画の主な事業展開

★ 日本財団助成事業  
★ こども夢基金助成事業

### 海洋教育の推進

子供たちの心身を鍛え、これからの時代を生き抜く力を育成

#### 海に親しみ、学ぶ機会の提供

- 小学校で行う「海の日」と「海の安全」を学ぶ教室 ★
- 海洋センター・海洋クラブ「水辺の安全教室」
- ギネス登録を目指す全国一斉事業 ★
- PTA等（おやじの会）との連携事業

#### 青少年への自然体験・宿泊学習の提供

- 東京湾海洋体験アカデミー ★
- 海を守る植樹教育事業 ★

#### 「困難な状況にある子供たち」への体験機会の提供（調査研究） 体験格差を解消し、インクルーシブな活動を目指して

- 特別支援学校、児童養護施設、障害者、ひとり親家庭を対象とした体験機会の提供 ★

### 指導者の養成と活用

時代の変化に対応し、地域に貢献する人材を育成

#### 海洋教育と地域活性化を推進する指導員の養成

- B&G指導員の養成
  - ・アドバンスト・インストラクターの養成 ★
  - ・アクア・インストラクターの養成研修 ★
  - ・リーダー及びジュニアリーダーの養成
- B&G指導員の資質向上
  - ・B&G指導員研修会
- B&G指導者会の活動促進 ★

#### 大学と連携した人材育成

子供の安全と安心を狙うボランティアの人材を育成

- 大学の学生を対象とした「水辺の自然体験」「安全プログラム」に関する研修や実習

### 海洋センター・海洋クラブの活性化

スポーツにとどまらない海洋センターの活用を推進

#### 地域コミュニティの活性化と海洋センターの多機能化 ★

- 海洋センターを活用した地域コミュニティ再生モデル事業
- 海洋センターへのコミュニティ機能付加改修支援
- 多目的艇庫の建設支援（調査研究）

#### 事業推進拠点の施設整備と連携強化

- 海洋センター・海洋クラブの施設整備 ★
  - ・修繕助成金の交付
  - ・舟艇器材の配備
  - ・東日本大震災復旧修繕
  - ・海洋クラブの登録
- 海洋センター・海洋クラブへ活性化支援
  - ・海洋センター・海洋クラブの評価と表彰
  - ・避難所開設訓練 ★
  - ・B&Gチャレンジ
  - ・B&G全国ジュニア水泳競技大会 ★
- 全国会議の開催等 ★
  - ・B&G全国サミット
  - ・B&G全国教育長会議
  - ・ブロック連絡協議会の支援（10ヵ所）

## ▶ 2019年度に向けた主な目標

水辺の安全教室の実施（都内）	水辺の安全教室の実施（全国）	海洋センター利用者	海洋性レクリエーション体験者
50校 4,000人	600団体 10万人	1250万人	100万人

遊びにいでよ!  
B&G  
海洋センター

高齢者も

親子三代でも

子供たちも

B&G海洋センターとは 艇庫・プール・体育館からなり、全国471か所に建設されています。海洋性スポーツをはじめ、幼児から高齢者までの健康づくりと、地域コミュニティの活性化を応援している施設です。※海洋センターは、ボートレース収益金の支援により、(公財)B&G財団が無償譲渡した施設です。

## 2016年度 B&G財団 TOPIC集

発行日：2017年5月25日 1,000部

編集・製作：公益財団法人 ブルーシー・アンド・グリーンランド財団

〒105-8480 東京都港区虎ノ門3-4-10 虎ノ門35森ビル9F

TEL 03-6402-5310 (代表) FAX 03-6402-5315

URL <http://www.bgf.or.jp/>